

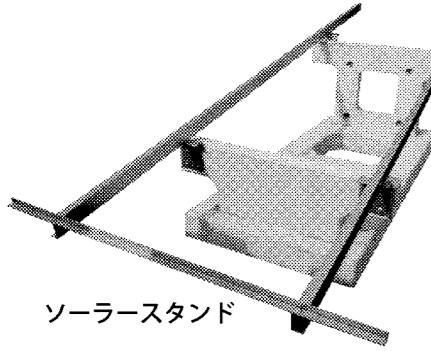
JaSS オリジナル ソーラースタンド & ウィンドガード

JaSS
オリジナル商品

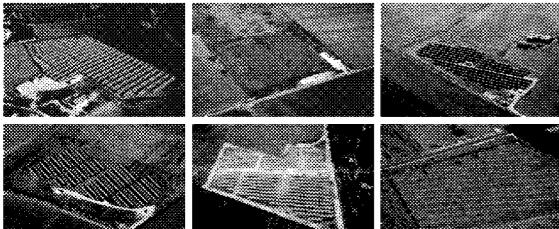
JaSSは従来の架台構造を根本的に見直し、新発想のモジュール架台と防風壁を生み出しました。主要部をプレキャストコンクリートで構成し、基礎掘削を不要とした画期的なものです。コンクリートの耐久性は、長期にわたる太陽光発電事業を支えます。

新発想の太陽光モジュール架台 ソーラースタンド

- 主要部はコンクリート製で「置くだけ施工」を実現
- 金属部にはZAM材採用、高い対候性を確保
- 簡単組立で施工をスピードアップ
- 不同沈下に強く不陸地や傾斜地にも施工可能
- ウィンドガードとの組み合わせで更に耐風性向上



わたしたちは、発電事業コンサルタントとして豊富な経験とノウハウがございます。安心してお任せください。



IPPコンサルタント&プロデュース
太陽光発電デバイス販売

<http://jass-taiyoko.com>

JaSS 日本太陽光システム株式会社

本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 4-4-6

TEL: 06-6221-1221 FAX: 06-6221-1220

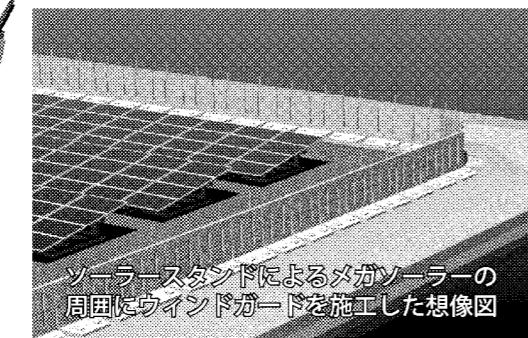
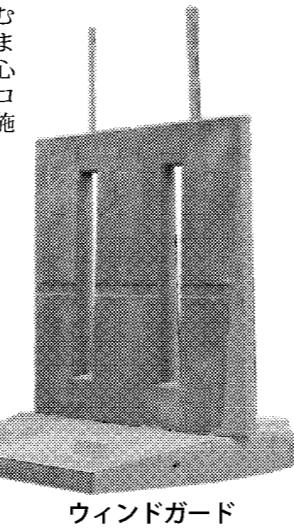
東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-6-7 光洋ビル 5F

TEL: 03-6214-3015 FAX: 03-6214-2723

画期的な防風壁システム ウィンドガード

- 想定外の強風からメガソーラーを守ります。
- セキュリティ対策としても有効です。

周囲をウィンドガードで囲むことで風圧荷重が半減されます。想定外の強風時でも安心です。暴風に耐える頑丈なコンクリート製で、「置くだけ施工」のスピード施工です。



関西パイプ工業

関西パイプ工業が提供するソーラーパネル設置のハゼ屋根（金属板を折り曲げかみ合わせた形）用取り付け金具は、230グラムの軽量化と開脚方式による簡単施工により、従来のスライド方式と比較し作業時間を半減。亜鉛・スズ合金メッキ仕上げで高耐食性も併せ持つ。

同社のメガソーラー用架台は自社で設計・強度計算・製造まで行い迅速な技術対応を可能にしている。次世代太陽電池開発のNEEDOプロジェクトにも参加。創業以来70年の実績を生かし、独創的発想会社として発展していく。

同社は太陽光発電パネル架台向けFRP部材の販売を開始した。今後、沿岸部・洋上や、重機の入りにくい急傾斜地においては、さびやすく重い鉄製部材に代わり、耐水性・耐塩水性に優れ、また、軽いFRP部材の使用拡大が予想される。2013年3月末にはグループの技術を結集し開発したFRP部材を使った新しいタイプの太陽光発電所（出力524キロワット）も開所した。

モリマーエスエスピー

モリマーエスエスピーは、日本最大規模

の

繊維強化プラスチック（FRP）加工設備を有する日本モリマーグループの原料・部材商社。

モリマーエスエスピーは、創業以来、金属機械加工をはじめ各種プランの設計、製作、据付、メンテナンスなど製造業の設備全般に携わってきた。環境意識も高く、集塵機や製造プロセスの効率化・省力化の提案で業界の環境負荷低減に寄与している。

城洋グループは13年3月、太陽光発電事業として姫路南発電所（約350キロワット）に

工場屋根乗せ式ソーラーパネル、姫路北発電所（約1250キロワット）に野立て式ソーラーパネルを設置。設備は随時見学を受け付ける。パネルを乗せる架台は大量注文（1000個以上可）にも対応している。

城洋グループは創業以来、金属機械加工をはじめ各種プランの設計、製作、据付、メンテナンスなど製造業の設備全般に携わってきた。環境意識も高く、集塵機や製造プロセスの効率化・省力化の提案で業界の環境負荷低減に寄与している。

城洋グループは13年3月、太陽光発電事業として姫路南発電所（約350キロワット）に

工場屋根乗せ式ソーラーパネル、姫路北発電所（約1250キロワット）に野立て式ソーラーパネルを設置。設備は随時見学を受け付ける。パネルを乗せる架台は大量注文（1000個以上可）にも対応している。

城洋グループは創業以来、金属機械加工をはじめ各種プランの設計、製作、据付、メンテナンスなど製造業の設備全般に携わってきた。環境意識も高く、集塵機や製造プロセスの効率化・省力化の提案で業界の環境負荷低減に寄与している。

城洋グループは13年3月、太陽光発電事業として姫路南発電所（約350キロワット）に

工場屋根乗せ式ソーラーパネル、姫路北発電所（約1250キロワット）に野立て式ソーラーパネルを設置。設備は随時見学を受け付ける。パネルを乗せる架台は大量注文（1000個以上可）にも対応している。

新星電気

新星電気は1970年5月に創業。機械やプラント、工場設備などで使用される制御盤の製造をメインに業務を展開してきました。最近では太陽光発電設備の施工工事や太陽光発電架台の製作・販売にも力を入れている。

同社が開発した「コンクリート架台式ソーラー設備」は従来工法の約3分の1の低コストで設置可能。市販の道路用JIS規格コンクリート縁石利用で基礎工事を簡便にし未熟練者でも容易に据え付けができる。12年7月スタートした再生可能エネルギー全量買い取り制度が同社の堅調な引き合いを後押ししている。

城洋グループは創業以来、金属機械加工をはじめ各種プランの設計、製作、据付、メンテナンスなど製造業の設備全般に携わってきた。環境意識も高く、集塵機や製造プロセスの効率化・省力化の提案で業界の環境負荷低減に寄与している。

城洋グループは13年3月、太陽光発電事業として姫路南発電所（約350キロワット）に

工場屋根乗せ式ソーラーパネル、姫路北発電所（約1250キロワット）に野立て式ソーラーパネルを設置。設備は随時見学を受け付ける。パネルを乗せる架台は大量注文（1000個以上可）にも対応している。